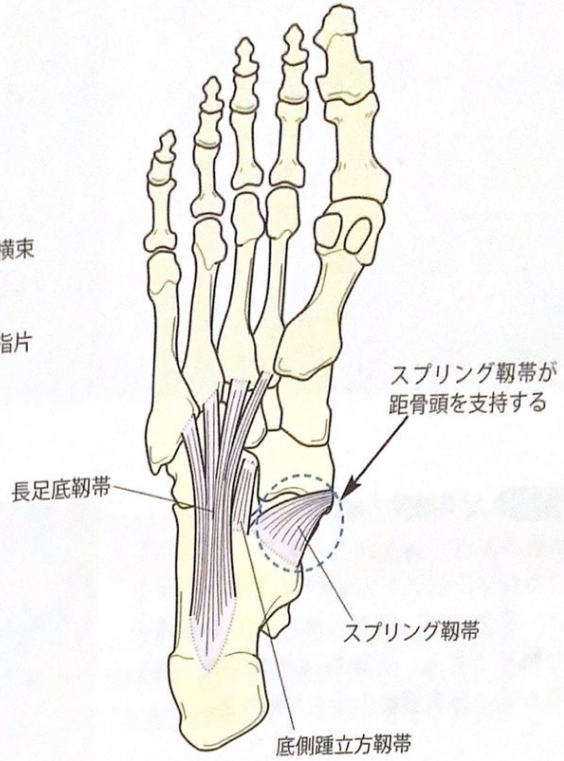
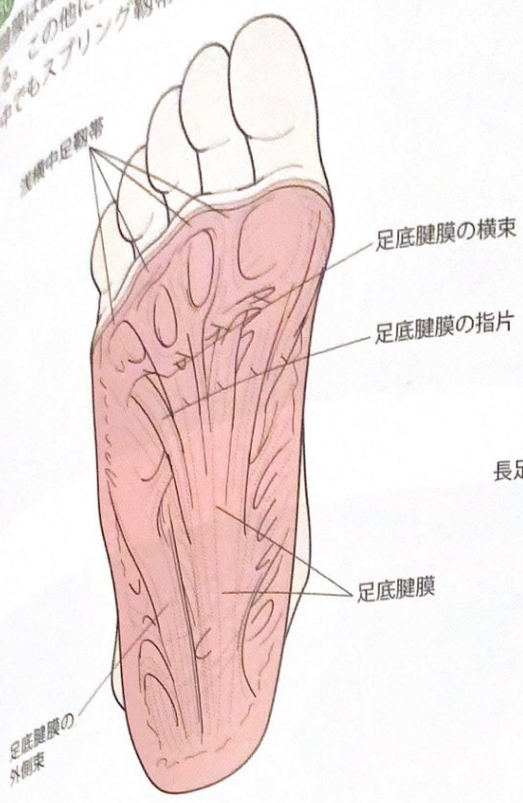
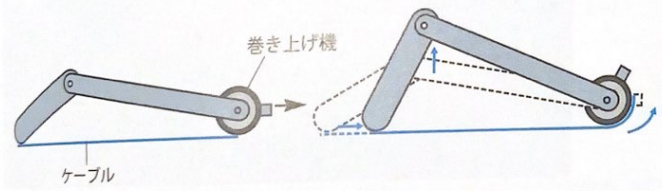
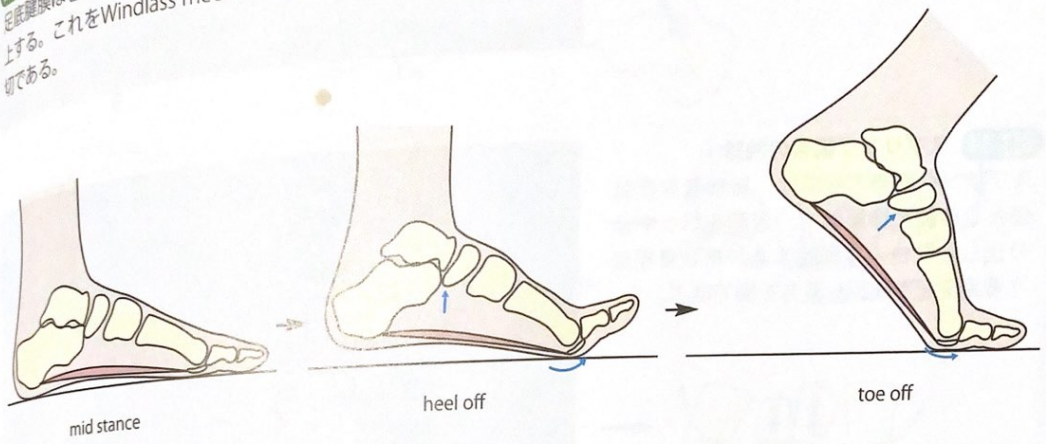


足底腱膜とスプリング靭帯... 足底腱膜は踵骨隆起から各足趾をつなぐ強靭な腱帯である。この他にアーチを支持する靭帯では、スプリング靭帯、長足底靭帯、底側踵立方靭帯の3つが重要で、中でもスプリング靭帯は距骨頭を支える関節窩としての役割がある。



③.31 歩行時のWindlass mechanismの役割
足底腱膜は巻き上げ機のケーブルに相当し、足趾の伸展に伴いケーブルが巻き取られ、足部アーチが自動的に挙上する。これをWindlass mechanismとよび、歩行時のバネ様の働きに加えて、体重移動を円滑に行うために大切である。



文献(14,15)より改変

図31 歩行時のWindlass mechanismの役割

足底腱膜は巻き上げ機のケーブルに相当し、足趾の伸展に伴いケーブルが巻き取られ、足部アーチが自動的に挙上する。これをWindlass mechanismとよび、歩行時のバネ様の働きに加えて、体重移動を円滑に行うために大切である。

